

神楽甲子園

石見神楽部は令和7年7月19日(土)に広島県安芸高田市の神楽門前湯治村神楽ドームで行われました「第14回高校生の神楽甲子園ひろしま安芸高田」に参加しました。

地区予選こそありませんが、「神楽甲子園」は全国からのエントリーがある大規模な大会で、毎年2日間にわたって開催されます。今年も岩手県から2校、大分県、徳島県、宮崎県からは各1校ずつの中国地方以外からのエントリーも含め、総勢21校の出場がありました。第1位にあたる「日藝選奨」は、江津高校が受賞しました。

邇摩高校石見神楽部は「道返し」を上演しました。神が鬼を退治するのではなく改心させるという、石見神楽では珍しい内容の演目です。日頃の練習の成果を発揮して納得のいく上演ができたと思います。上演の支えになったのは、いつも練習をみてくださっているOBの方々でした。今回も現場まで駆けつけ、裏方として上演を支えてくださいました。ありがとうございました。

引き続き、邇摩高校石見神楽部へのご声援をよろしくお願いします。

